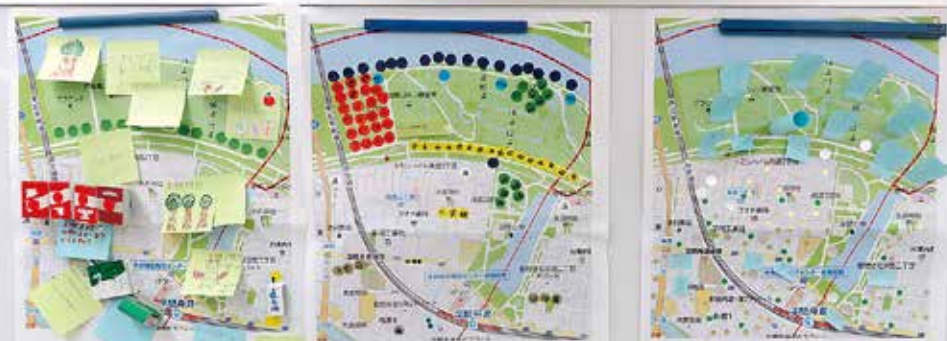


# 住み続けたい板橋のまちを考えよう

舟渡1丁目周辺を例にゆめを描いた

中央・城北地区職能開発センター板橋校・実務作業科  
学生9名◎10月6日



左) 100年かけて森づくり、ごみ分別の徹底、ごみ食ペロロボットを配置  
中) 樹木を増やし動物園増設、河に畑を増やす  
右) エネルギー 河川敷に風力、太陽光発電蓄電池・電気バス電気自動車

「地質調査をして地熱がある場所を見つけて発電所を作る」  
「森を増やす」「風力発電のあるまち」「水素ステーションなどを増やし、エコカーの人口を多くする」  
「河川敷に畑をたくさん作って野菜を育てたい」

「食べる分だけつくる」「残飯を海に流さない」「蓄電池をつかってためる」  
「まちを四つのブロックに分け、北部は自然、南は住宅、西は食料、東は工業地域にしたい」  
「プラスチックを減らしたい」「買うものは

エネルギーに絞ったグループが真剣に考えました



長く使えるものにする」「ランニングできる場所が欲しい《ほかの地区のまちの例として》」  
「高尾山が自然遺産になったことでごみが増えたので、クヌギ、コナラを増やしたい」  
「青梅の梅の木が復活（ウイルス感染から）してきたので、元の状態にしたい」……など、みなさん、

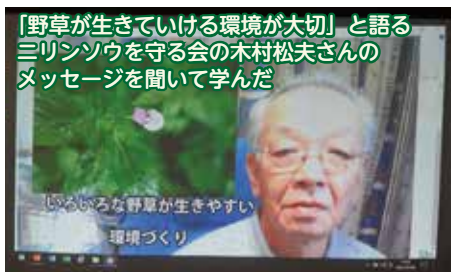


温暖化・板橋のまちの緑・生きもの・水、ごみ削減・CO2排出量・リサイクルの現状など学び、まちづくりへ

「こうなったらいいな」のまちをグループで楽しそうに考えて、地図に、描きました(上の写真)。見ただけで楽しくなるとも素敵なまちです。2030年へ向け、夢から始まる! 少しでも実現させたいものです。

**学生の指導者の先生方より(ご感想の一部)**「今日は素晴らしいプログラムを提供していただき感謝いたします 相互のかかわりレベルが高まり、環境について思考する質の高い時間を過ごすことができました」「わかりやすい内容・流れで、飽きることなく集中できていた SDGs についてよく理解できました」「生徒たちなりに考え、問題や課題を見つけられていたのではないかと 私も一緒に勉強できました 具体的なイメージが持てる内容だったので、分かりやすい」

板橋区環境政策課環境教育係の方2名が参観され感想が寄せられました「参加者9名のストレートでオリジナリティを持った意見に驚かされた(エネルギーや荒川河川敷の活用) 将来をイメージすると今できることがはっきりする」「ワークで笑顔で取り組んでいる参加者が多い 職場ではなかなかできないようなアイデアもあり、今後の業務に生かせそうな部分もあり勉強になった」



「野草が生きている環境が大切」と語る三リンソウを守る会の木村松夫さんのメッセージを聞いて学んだ

**SOE NEWS**  
No.188  
2022年 11月  
センスオブアース  
市民による自然共生  
パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動  
環境大臣表彰受賞団体

2022年度



SDGs 2030 ゴールをめざして

地球をまもる子どもたち

その生きものは“なぜ”そこにいたんだろう

# 2年生の遠足で、生きもの探し

板橋区立北前野小学校◎2年1・2組49人◎10月11日／赤羽自然観察公園



真剣に観察する姿。バッタ・トンボ・チョウ・カエル

生きものの気持ちを想像した子どもたち。いっぱい予想が浮かんで、見事！想像した種類の多さに驚きです!!!

♥2年生が想像したそこにいた生きものの気持ち♥

- 🟢 巣を守るため
- 🟡 仲間と合流するため
- 🟠 巣をつくるため
- 🔴 脱皮するため
- 🟡 仲間を探すため
- 🟢 子どもを守るため
- 🟠 取れた尻尾をはやすため
- 🔴 子どもを産むため
- 🟢 あったかそうだから

最初に子どもたちに示した「生きものがそこにいる理由」の例は…①敵から身を守るため ②エサが近くにあるから ③雨や風から身を守るため ④体を休めるため…でも、子ども



地面の下にいた生きものや空を飛んでいた生きものを分ける

たちはほかにもいろいろ考えて発表してくれました。🟢遊ぶため

- 🟢 仲間・家族を探している
- 🟡 日向ぼっこをしている
- 🟠 仕事をしている
- 🔴 鳥の子どもが飛ぶ練習をするため
- 🟢 散歩をしている

探検の後、子どもたちはグループごとに、学校の熱意で準備された力作の野原の絵の画用紙に、生きものの絵を貼ってまとめて、発表しました。学習班ごとの絵を使った活動は、SOE の出張授業では初めてです。そこに見つけた生きものの絵を、空・木・草・土などの環境ごとにはっていきます。発表も、班ごとの立体的な絵の構図で理解しやすいものとなりました。



4人で見つけた生きものの数！すごいね

《子どもたちの感想・予想・これから行動すること》

- 🟢 なんでこんなにチョウ・トンボ・バッタ・カエルとがいるんだろう
- 🟠 テントウムシが葉っぱで涼んでいてなるほどと思った
- 🔴 草や枯れ草の上をやさしく歩く・草を抜かない
- 🟢 鳥の子どもが飛ぶ練習をしていた
- 🟡 ムカデが体を丸めて敵から身を隠していたの

がなるほどと思った 🟢 必要なざっそうを抜かない



いろいろなチョウやテントウムシが地味な草花のそばにいたね



野原の教室で学ぶ楽しさ

# 風となかよし

私立さくら保育園(板橋区)◎5歳児13人  
9月26日

- カミトンボを作るのが楽しかった
- カミトンボを飛ばすのが楽しかった
- ◎かざぐるま回すのが楽しかった
- 😊紙芝居で、みんながなかなかおりでできてよかった



室内で、風車を勢いよく回しました



風車づくりで折り紙をひごにさしこむちょっと難しいけれどがんばりました



紙トンボの飛ばし方、みんな上手でびっくり、いろいろ工夫してます!!



# お日さまとなかよし

私立ほっぺるランド成増保育園(板橋区)  
3・4歳合同クラスの希望幼児17人  
10月7日

あとの幼児は「風となかよし」で活動しました

自分のかいた絵を壁に映して楽しんでいます  
映し方が上手ですね



あいにくの曇り空でしたが、懐中電灯を使って、パラフィン紙に好きな絵を

描いたものを壁や天井に映し、光の反射あそびをしました。SOEが創った紙芝居「キラキラ魔女のピッカリコとくらやみ魔女のマックラコ」の読み聞かせでは、3・4歳児と思えないほどの集中力で、話を聞き取りました。そのお話でくらやみの洞窟に閉じこめられた「ケロスケ」を、子どもたちの鏡の力で助け出し、最後、みんながケロスケに会えて、ニコニコでした。



ボランティアで読み聞かせをする東京家政大3年生うしるでケロスケが「みんなー!助けてくれてありがとう」と言っています



黒い箱は洞窟・光の反射でケロスケを探します

# 埼玉県 鳩山町 石坂の森 観察会



石坂の森の観察スタート、案内人富田恵理子氏(右)と参加者たち

**参加した青年・学生より** 「森の手入れの仕方について知ることができた」 「ありのままの自然や、ボランティアの方々が残し続けている自然があることを知った」 「自然には歴史があることを知った」 「たくさん



参加した学生たちは真剣に耳を傾ける

の自然に触れて気持ち良かった」 「初めて見る植物も多く、見分け方などの知識も教えていただいて勉強になった・こういう場所が至る所にあると良いな」 「このような場所を整備し、守る人がいて自然観察を楽しめるのだ」 「自然は、適切な形で手を加えることで豊かな森を維持することができる」 「虫や自然がとても新鮮」 「蛇やチョウなどの生きものも目にすることができた・もっと自然に触れていきたい」



森の弱ったコナラなどの伐採体験した参加者(右)



森の枯れそうな木を見ながらほかの植物などの浸食に弱い弱っていくことがあるとの説明を聞く

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052  
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp